



人権週間の取組

校長 金子 博美

ポプラの木が黄色に色づきました。少し後ろに一本、背丈こそポプラにかなわないものの色では負けまいと鮮やかに赤く染まった木が目を引きまします。子どもたちは、色づく木々の間をくぐるように、寒さも気にせず遊んだり落ち葉や木の実を集めたりしています。

さて、今年度の人権週間の取組として、車いすバスケットボールを取り上げた「人権教室」を行います。実際に選手の方をお招きしてプレーを見せていただいたり、車いすバスケットボールを始めたきっかけなど、お話を伺ったりする計画です。事前指導もかねて、子どもたちに投げかけるためにこの競技について少し調べたことについて朝会で話したところ、コートの高さもゴールの高さも通常のバスケットボールと同じ、ルールもほぼ同じということに、子どもたちも驚いていました。意外だと感じたようです。さらに、競技用車いすの写真をテレビで見せると、車輪のつき方が違うことには多くの子がすぐに気付きました。普段の学校生活を見ていると、バスケットボールが好きな子やうまくなるために練習している子が、特に高学年にはたくさんいるのではないかと思います。子どもたちには「人権教室」の中で、自分の興味関心や経験と重ねながら考え、本物と出会い、見たり聞いたりすることによって、もっと様々な発見をしたりいろいろなことに気付いたりすることを期待しています。「だれもが」「安心して」「豊かに」学校生活を送ることができるよう、子どもたちの人権感覚を養う大切な学習と位置付けて取り組むたいと考えています。

* * * * *

ボランティアの方々と学習しています ～ポプラ隊の活動～

5・6年生の家庭科の学習の支援として、ポプラ隊の方々にご協力いただいています。今、取り組んでいる学習は、ミシンです。多くの方にかかわっていただくことによって、どの子も安全に学習に取り組むことができます。また、普段ミシンを扱う機会が少ないので、不安な子どもたちも、傍で声をかけていただいたり作業を一つ一つ見てくださったりするおかげで安心して制作することができます。子どもたちのために、本当にありがとうございます。

「運動会アンケート」「学校運営に関するアンケート」につきまして、保護者の皆様からご意見をいただき、ありがとうございました。今後もできることを工夫しながらの教育活動が続くことが予想されますが、子どもたちのことを第一に考え、しなやかに答えを導き、教職員一同全力で努力してまいります。保護者・地域の皆様には健康安全面、学習面、行事など、様々なところでご理解とご支援を賜り感謝しております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

「横浜市立学校における新型コロナウイルス感染症に関する 衛生管理マニュアル」が横浜市教育委員会より改訂されました。それに基づき、マスク着脱や健康観察に関するお知らせを配付いたしました。これまでも、様々な感染拡大防止措置を講じておりますが、今後も感染予防のための取組を徹底してまいります。保護者の皆様におかれましても、日頃の健康観察を注意深く行い、発熱・のどの痛み等の風邪症状がある場合は登校を控え、症状が無くなるまで自宅で休養する等、引き続き健康観察の徹底をお願いします。